


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		株式会社医療情報研究所				
役職		代表				
氏名		伊藤 隼也	ふりがな	いとう しゅんや	生年	
連絡先	住所	〒	164-0013	東京都中野区弥生町2-15-17 ニューライフアサヒ402		
	固定電話	03-5358-2668			携帯電話	
	メールアドレス	medicalinfo@imi-tokyo.com				

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 東京都出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2000年 日本医学ジャーナリスト協会 会員 ◆2002年 東京都病院協会医療安全推進委員会PSM小委員会 委員 ◆2003年～2005年 東京都医療安全推進事業・評価委員会 委員 ◆2005年～2011年 日本医療機能評価機構 広報委員会 委員 ◆2010年～2015年 厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議 委員 ◆2012年～2018年 内閣官房 新型インフルエンザ等対策有識者会議 構成員 ◆2014年～2015年 ドクターヘリ運航費用の多様化に関する有識者懇談会 委員 ◆2018年～ 一般社団法人日本航空医療学会航空医療における無人航空機(ドローン)に関する検討委員会 委員 ◆2019年～ 認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net) 理事 ◆2019年～ 学校法人藤田学園藤田医科大学 理事長アドバイザー ◆2022年～ 学校法人藤田学園未来共創イノベーションセンター 特任アドバイザー ◆2024年～ 藤田医科大学研究推進本部 イノベーション推進部門 客員教授 <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2002年 グッドデザイン賞新領域デザイン部門賞 受賞(医療事故市民オンブズマン・メディア) ◆2007年 グッドデザイン賞新領域デザイン部門賞 受賞(フジテレビ「とくダネ!医療プロジェクト」) ◆2009年 第15回「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞」大賞 受賞(週刊文春「産婦人科の戦慄」) 	
	<p><主な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2003年～2021年 (株)フジテレビジョン「情報プレゼンター とくダネ!」メディカルアドバイザー ◆2015年～2019年 (株)フジテレビジョン 夕方報道番組 メディカルアドバイザー他、TV出演、雑誌連載、書籍出版多数 ◆2013年～2014年 群馬県館林市少子化対策プロジェクト プロジェクトチーム有識者会議メンバー 2014年3月7日 医療情報研究所より報告書を発行 「安心して産み育てられるまちをつくるプロジェクトチーム有識者会議報告書」 ◆2014年～2015年 岐阜県恵那市少子化対策強化事業プロジェクト プロジェクトチーム有識者会議メンバー 2015年4月2日 医療情報研究所より報告書を発行 「恵那市少子化対策強化事業プロジェクト報告書」 ◆2015年～2016年 長野県 保健補導員制度を活用した生涯健康／現役都市「すざか」創生プロジェクト 健康長寿発信都市「須坂JAPN」創生プロジェクト 外部マネージャー (平成27年度新・地域再生マネージャー事業) ・市主体のプロジェクト発足、活動への参加・アドバイス ・プロジェクトのホームページ開設の監修、ロゴマーク作成のデザイン ・イベントの計画および実施へのアドバイス(「おやこ遊学信州須坂」等) ・マスクみや行政へ、須坂市の取り組みを紹介 ◆2019年 DJI年次カンファレンスAirWorks 2019(9月24～26日)に招聘される。消防活動にUAV(ドローン)を多用しているロサンゼルス消防局へ視察等 カンファレンスからの考察を基に第26回日本航空医療学会総会内(11月)にて特別講演を行う 「UAV先進国アメリカ視察 DJI AIRWORKS 2019カンファレンスからの考察」 ◆2020年～ 藤田医科大学(愛知県豊明市)と株式会社タムラテコ(東大阪市)産官学研究プロジェクトを起案しプロデュース コロナ禍において耐性菌を作らないオゾンガスの有用性に着目し、その安全性と有効性を求めた研究を推進 藤田医科大学の村田貴之教授がオゾン(気体・水)で実証実験を行い、世界で初めてオゾンによる新型コロナウイルスの不活化に成功。その後、感染予防に有効な商品開発に携わる 現在国内で多くの企業が、新型コロナ禍に際してオゾン発生機器等の商品開発を始めた発端となる 	
取組分野(テーマ)	観光	(
	移住・定住・関係人口	(
	農林水産業	(
	起業支援	(
	まちなか再生	(
	● 集落再生	(無人航空機(ドローン等)に関する医療・産業現場へのコンサルティング及び現場サポート
	● 環境	(医療・健康に関する様々な問題へのコンサルティング及び現場サポート
● その他	(医療関連機器開発に関するコンサルティング及び現場サポート	

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
伊藤隼也オフィシャルウェブサイト SHUNYA ITO.TV	http://shunya-ito.tv/
藤田医科大学	https://www.fujita-hu.ac.jp/
藤田学園未来共創イノベーションセンター	https://www.fujita-hu.ac.jp/coi-next/
村田教授オン(水)実証実験プレリリース	https://www.fujita-hu.ac.jp/news/i93sdv0000007fdg.html
4. ふるさと財団での実績	
外部 活用 専門家 助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆2016年度 長野県須城市 「健康長寿発信都市「須城JAPAN」創生プロジェクト」 ◆2015年度 長野県須城市 「保健補導員制度を活用した生涯健康都市/現役都市「すざか」創生プロジェクト」
外部 専門家 派遣 (短期 診断)	
地域 再生 セミナー	
その他 ほか	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jisyuhoukokusyo.pdf
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikiseisei_houkokusyo.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>写真家として世界中を回り、多くの文化に触れ地域での生活を体験。趣味のアウトドアから高度先進医療といった、幅広いジャンルの取材経験を生かし、多くの提言を行っている。具体的には、提言により、東京都の周産期救急医療の大改革がなされ、その後、館林市および恵那市の少子化対策強化事業プロジェクト参画へとつながっている。</p> <p>これまでに長野や山梨の中山間地域と東京都内の二地域居住を続けながら、農業体験や僻地医療のあり方を探求。医療界、政界、マスコミ等、幅広い人脈からのサポートを生かし、より良い社会創りを願いアクティブな日々を送っています。</p>